

令和7年度

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」  
及び「学校関係者評価報告書」

大阪市立桜宮幼稚園

令和8年3月

## 大阪市立桜宮幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

## 1 幼稚園運営の中期目標

**現状と課題**

- いつ起こるか分からない地震や津波、火災などを想定した防災訓練に加えて、昨今の社会情勢から不審者等による事件発生時の対応についても、訓練の必要性を感じ、取り組んでいる。
- 感染症対策の制限がなくなったので、地域や保護者と連携した避難訓練や防犯訓練に少しずつ、取り組んでいく。また、自転車の事故や子どもが巻き込まれる交通事故などが増えてきている。子ども自身が交通ルールを守って行動できるような指導に努める。
- 安全面に配慮し、廊下の移動は歩いて行うことや、階段の安全な上り下りの仕方などに気を付けられるような指導を行う。また、遊具や用具の使い方を指導するなど、全ての子どもたちに分かりやすい伝え方を工夫し、子どもが幼稚園に安心して登園し安全に過ごすことができるように努める。
- 集団生活を通して、友達の良さを知ったり、自分の良さを知ってもらったりして共に学びあえるようにしたい。そのために、全教職員で幼児の実態を共有し、個にあった支援方法の工夫に努める。
- 生涯にわたる人格形成の基礎となる幼児期に様々な経験をし、豊かな心情を育み、自ら考えたり、工夫したりし、友達と共に遊び込みながら育ち合えるように、環境構成や保育を工夫し、教育内容の充実に努める。
- 登園時間が遅くなったり朝食を食べずに登園したりして十分な活動ができない子どもがいる。健康に園生活を送るためにも基本的な生活習慣の獲得が大切である。保護者啓発をするとともに、子どもが自分自身の体に関心をもてるような指導を発達に応じて行う。
- 昨年度移動させた絵本コーナーを活用して、いろいろな絵本に興味をもてるように環境を見直していく。また、保護者と一緒に絵本を楽しめる絵本タイムを実施し、お話の楽しさを感じ、親しめるようにしていく。
- IT機器からの情報が多い昨今、実体験を通して表現する楽しさを味わう幼児を育む。
- 近隣の保育園、幼稚園、小学校との連携を深め、互いの教育理解や教育活動の充実に努める。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】**

- 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答をする割合を80%以上にする。
  - ・「幼稚園は子どもが園内で安全に過ごせる環境や援助の在り方を工夫している」
- 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を80%以上にする。
  - ・「幼稚園はお互いの良さを認め合える保育をしている」
  - ・「子どもは友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいますか」

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を80%以上にする。
  - ・「子どもはかいたりつくったりして遊ぶことを通して、表現する楽しさを味わっていますか」
- 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を80%以上にする。
  - ・「幼稚園は、近隣の小学校・保育園などと交流し連携を深められていますか」
- 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を70%以上にする。
  - ・「子どもは基本的な生活習慣が身に付いてきていますか」
  - ・「幼稚園は子どもの実態に応じた保健指導を実施している」

**【学びを支える教育環境の充実】**

- 令和7年度の保護者アンケートの次の各項目において最も肯定的な回答の割合を70%以上にする。
  - ・「子どもは絵本やおはなしに親しむようになりましたか」
  - ・「幼稚園は絵本やおはなしに親しむ環境や指導方法を工夫していますか」

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 学校園の年度目標

- ① 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を80%以上にする。
  - ・「幼稚園は子どもが園内で安全に過ごせる環境や援助の在り方を工夫している」
- ② 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を80%以上にする。
  - ・「幼稚園はお互いの良さを認め合える保育をしている」
  - ・「子どもは友達と一緒に遊ぶことを楽しんでますか」

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 学校園の年度目標

- ① 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を80%以上にする。
  - ・「子どもはかいたりつくったりして遊ぶことを通して、表現する楽しさを味わっていますか」
- ② 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を80%以上にする。
  - ・「幼稚園は、近隣の小学校・保育園などと交流し連携を深められていますか」
- ③ 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を70%以上にする。
  - ・「子どもは基本的な生活習慣が身に付いてきていますか」
  - ・「幼稚園は子どもの実態に応じた保健指導を実施している」

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 学校園の年度目標

- ① 令和7年度末の保護者アンケートの次の各項目において、最も肯定的な回答の割合を70%以上にする。
  - ・「子どもは絵本やおはなしに親しむようになりましたか」
  - ・「幼稚園は絵本やおはなしに親しむ環境や指導方法を工夫している」

## 3 本年度の自己評価結果の総括

- ・運営に関する計画を立て、4年間に渡り取り組んできた。今年度は、目標を最も肯定的な回答の割合で評価したが、中期目標及び年度目標全てにおいて目標を達成した。
- ・本園が所属する第2ブロック研究部では、「自分の思いを表現する楽しさを味わう幼児を育てる ～かいたり、つくったりする中で～」のもと、2年間に渡り保育を実践した。幼児の実態から実践記録をとり、教師の教育的意図をもった働きかけや環境を分析し、幼児が表現することを楽しむ要因をまとめ、大阪市立幼稚園教育研究会の研究成果発表会で発表した。また、第75回造形表現・図画工作・美術教育研究大会（大阪大会）で研究発表した。  
保護者アンケート「子どもはかいたりつくったりして遊ぶことを通して、表現する楽しさを味わっていますか」において、最も肯定的な回答の割合は95%であった。
- ・保幼小連携・接続推進研究発表会で、2年間に渡る研究をまとめて報告した。交流計画のもと、年間を通して小学校の全学年と交流することで、幼児は小学校の先生や児童、保育園の友達と顔見知りになったり、優しさにふれたりした。また、小学校の環境に慣れ親しみ、安心して就学することにつながった。  
保護者アンケート「幼稚園は、近隣の小学校・保育園などと交流し、連携を深められていますか」において、最も肯定的な回答の割合は91%であった。

## 大阪市立桜宮幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>幼稚園の年度目標</b></p> <p>① 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を80%以上にする。          ・「幼稚園は子どもが園内で安全に過ごせる環境や援助の在り方を工夫している」(前年度、最も肯定的な回答79%)</p> <p>② 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を80%以上にする。          ・「幼稚園はお互いの良さを認め合える保育をしている」(前年度、最も肯定的な回答85%)          ・「子どもは友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいますか」(前年度、最も肯定的な回答88%)</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安心安全な教育環境の実現】          幼児が安全に過ごせる環境や援助の在り方を工夫する。</p> <p>指標 ・安全計画を作成し、月1回以上、非常時の行動の仕方や安全な遊具や用具の使い方などについて計画的に指導する。          ・年に2回以上、幼児と保護者に安全指導を実施し、保護者にも啓発をする。          ・全教職員で園内の環境を見直す機会を月1回以上もつ。</p>	A
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】          幼児一人一人を大切に「共に学び」「共に育ち」「共に生きる」教育を推進する。</p> <p>指標 ・園内委員会を学期に1回以上実施し、個々の幼児の実態や興味・関心を共有しながら個に合った支援の仕方を工夫する。</p>	A

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

<p>○保護者アンケート</p> <p>① 「幼稚園は子どもが園内で安全に過ごせる環境や援助の在り方を工夫している」の項目において、最も肯定的な回答は91%であった。</p> <p>② 「幼稚園はお互いの良さを認め合える保育をしている」の項目において、最も肯定的な回答は91%であった。          「子どもは友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいますか」の項目において、最も肯定的な回答は91%であった。</p> <p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画に基づき、避難訓練を実施した。4月、5月(火災)6月(地震)、7月(防犯)、9月(地震・津波 引き渡し訓練)、10月(防犯)、11月(火災)12月(火災)1月(地震・津波)2月(防犯 警察指導)3月(火災)の避難訓練を行い、自分の身を守ることの大切さや方法を知らせた。</li> <li>訓練の前後に掲示物を見せたり、絵本や紙芝居を読んだりして、幼児が自分で身を守る方法について考えて行動できるような指導を、発達段階に合わせて工夫した。</li> <li>遊具や用具の正しい使い方や安全な過ごし方、約束などについて知らせる機会をもった。4月、5月(スケーターの使い方や、貸し借りの仕方について)、6月(固定遊具の使い方について)、7月(休息や水分補給について)、9月(公園での活動の約束について)、10</li> </ul>
--

月（園外保育での約束について）、11月（ハサミの扱い方について）、12月（凧揚げをするときの安全な遊び方について）、1月（マラソンをするときの安全な走り方について）  
2月（園外保育での約束について）3月（廊下や階段の約束について再確認）

- ・全体の集会や各組で、安全について話し合う時間をもったことで、安全な遊び方について声をかけ合う姿が見られた。
- ・9月、大津波警報が発令された想定で、幼児は、桜宮小学校の3階に小学6年生と手をつないで避難した。保護者には、コドモンで連絡して幼児を迎えに来てもらった。引き渡しまでに必要とする時間を知ったり、幼児や保護者の動きを確認することができた。
- ・都島警察の指導のもと、防犯訓練を実戦しながらに実施した。教職員の動きを確認したり、さすまたの正しい使い方を学んだりすることができた。
- ・月末の降園時に避難訓練や安全についての指導の様子を、写真を用いて保護者に説明し、家庭でも安全について話し合えるように啓発した。
- ・月1回安全点検を行い、遊具や、建物の安全点検を複数名で行い、安全を確認した。
- ・夏の着替えが多い時期は、幼児が安心して着替えをできるように、手作りのパーテーションを活用し、幼児が安全に過ごせる環境を整えた。

#### 取組内容②

- ・4月と8月、園内委員会を実施した。新学期が始まる前に幼児の実態を職員全体で把握し、一人一人に寄り添った支援方法を共有した。
- ・6月と12月、大阪市教育委員会の巡回指導を受けた。配慮を要する幼児の実態から、個々に合った支援方法について具体的に指導を受けた。学んだことを教職員間で共有し、普段の保育や運動会などの行事で個々に合った支援ができるように何度も話し合いを重ね、教職員の配置や環境構成を工夫している。
- ・7月、大阪市教育委員会に依頼し、発達障がい基礎講座を受講し、個々に合った声かけの仕方や見通しをもてるような知らせ方など、具体的な支援方法について理解を深めた。
- ・長期休みに、配慮を要する幼児が利用する療育施設を担任と支援担当で訪問し、幼稚園と療育施設で同じように支援できるようアドバイスをもらったり、話し合ったりした。
- ・運動会や生活発表会など大きな行事の際は、職員で話し合い、それぞれが無理なく参加できるように援助の方法や職員の配置に配慮した。
- ・3月に今年度の配慮を要する幼児の実態と支援の仕方をまとめ、小学校や次年度の保育に引き継げるようにする。

#### 次年度への改善点

- ・避難訓練、防犯訓練は、様々な災害や不審者侵入を想定し訓練を実施する。
- ・次年度も引き続き園内委員会を学期ごとに実施したり、必要に応じて専門家の指導を受けたりして、配慮を要する幼児に対する支援を行う。

## 大阪市立桜宮幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>幼稚園の年度目標</b></p> <p>① 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を80%以上にする。 ・「子どもはかいたりつくったりして遊ぶことを通して、表現する楽しさを味わっていますか」 (前年度、最も肯定的な回答92%)</p> <p>② 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を80%以上にする。 ・「幼稚園は、近隣の小学校・保育園などと交流し連携を深められていますか」 (前年度、最も肯定的な回答94%)</p> <p>③ 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を70%以上にする。 ・「子どもは基本的な生活習慣が身に付いてきていますか」 (前年度、最も肯定的な回答79%) ・「幼稚園は子どもの実態に応じた保健指導を実施している」 (前年度、最も肯定的な回答90%)</p>	A
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容①【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】 就学前教育カリキュラムを活用し、自分の思いを表現する楽しさを味わう幼児を育む。</p> <p>指標 ・幼児がかいたりつくったりする中で表現する楽しさを味わっている姿を、記録に取り、月1回、検討会をもつ。 ・各組が、年1回以上園内研究保育を行い、表現する楽しさを味わう幼児を育むための教育的意図をもった働きかけや環境について学び合う機会をもつ。 ・幼児の実態から素材に十分に親しめる環境構成を工夫する。</p>	A
<p>取組内容②【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】 近隣の保育園・幼稚園・小学校が連携し、互いの教育理解を深め、小学校教育への移行を円滑にすると共に、幼児教育の質の向上を図る。</p> <p>指標 ・年間計画を立て、保育園・幼稚園・小学校が、年6回以上交流する機会をもつ。 ・年間計画に沿って、各学校園のねらいをもって交流する。また、交流前の打ち合わせや交流後の反省を行い、円滑な小学校への移行につなげる。</p>	A
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 規則正しい生活が身に付くように、幼児の発達段階に応じた保健指導を行う。</p> <p>指標 ・丈夫な身体づくりや規則正しい生活習慣が身に付く保健指導を、月1回以上行う。 ・毎月の保健指導の内容を保護者に向けて発信し、家庭と連携する。 ・講師を招き、保護者に向けた保健指導を年1回以上設ける。</p>	A
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p> <p>○保護者アンケート</p> <p>①「お子さんは4月当初よりも、かいたりつくったりして遊ぶことを通して、表現する楽しさを味わっていますか」の項目において、最も肯定的な回答は95%であった。</p> <p>②「幼稚園は、近隣の小学校・保育園などと交流し連携を深められていますか」の項目において、最も肯定的な回答は91%であった。</p> <p>③「子どもは基本的な生活習慣が身に付いてきていますか」の項目において、最も肯定的な回答は86%であった。</p>	

「幼稚園は子どもの実態に応じた保健指導を実施している」の項目において、最も肯定的な回答は95%であった。

#### 取組内容①

- ・月1回「幼児が表現することを楽しんでいる姿」や、その姿につながる「心の動き」「教師の教育的意図をもった働きかけ」や「環境」「育つこと」を記録にとり、教員間で検討したことで、幼児の姿を分析し、表現することを楽しむ姿や保育についての理解が深まった。
- ・9月、10月、11月、12月、2月に園内研究保育を行った。  
研究保育の動画を撮影し、教師間で同じ場面を視聴することで、幼児の姿を多面的に読みとり、適切な「教師の教育的意図をもった働きかけ」や「環境」について意見を交わし合い、教職員の資質向上に努めている。
- ・11月「こども展覧会」を実施  
幼児が自分なりに思いを表現した絵や作品を展示した。幼児がかいたり、つくったりする楽しさを感じられるように、素材を手に取りやすいように種類別に分けて用意したり、幼児の思いを受け止め、褒めたり、認めたりすることを大切に保育してきたことで、幼児は、安心して自分の思いを伸び伸びと表現することができた。
- ・日々の降園時や月末に、各クラスの保護者に向けて、幼児がかいたり、つくったりする姿から、教師がどのような意図をもって働きかけているのか、その中で育つことなどを、実際の写真を見せながら具体的に伝えたことで、保護者の理解を得られ、家でも絵をかいたり、空き箱や容器類などでつくって遊ぶ姿が見られた。
- ・以上のことから、幼児は、かいたり、つくったりする中で、自分なりの表現を楽しんだり、友達と一緒に目的をもって、遊びに必要なものを継続してつくることを楽しんだりして、表現する喜びを味わっている。

#### 取組内容②

5月・8月 保幼小連携・接続研究会（桜宮小）

- ・ちどり保育園、桜宮幼稚園、桜宮小学校の教職員が集まり、2年目の研究の取組について確認した。8月、小学校・幼稚園・保育園の教職員が6月の幼保交流「泥遊び」の動画を視聴し、幼児の遊びの中での学びの芽が、小学校の学習につながっていることを、教職員間で共通理解した。

6月 桜小カーニバル（桜宮小）

- ・桜小カーニバル（小学校の縦割り班によるゲームのお店）に、5歳児が遊びに行った。様々な楽しい遊びを体験したことから、小学生と同じゲームをつくったり、自分たちが考えたりした遊びで、PTA夏祭りの一角にお店屋さんを开店し、充実感や満足感を味わった。

6月 保幼交流（ちどり保）

- ・「屋上の遊具で遊ぶ」「大きな紙に絵をかく遊び」「卓球遊び」で、交流を深めた。

6月 保幼交流（桜宮幼）

- ・桜宮幼稚園の園庭で、泥遊びをした。以前の交流で顔見知りになった友達を見つけて、嬉しそうにする幼児もいた。泥遊びで心が開放され、一緒に遊ぶ姿が見られた。

7月 プール体験（桜宮小）

- ・4年生と5歳児がグループになってプールに入り、優しく言葉かけをしてもらったり、手をつないでもらったりすることで、安心して深いプールに入った。大きなプールで水の抵抗や浮力を感じながら楽しむことができた。小学校のプールを楽しみにしていた。

9月 桜宮小学校へ津波の避難訓練（引き渡し訓練）

「未来を切り拓く学力・体力の向上」取組内容①参照。

10月 保幼交流（東野田公園）

- ・保幼の運動会後、東野田公園でリレー交流を行った。計画案を立て、教職員間で事前に打ち合わせをした。当日は、幼児同士が走る順番を決めたり、勝つためにはどのようにすればいいのか話し合ったりする機会をもつようにした。その際、教師は見守ったり、仲立ちをするようにしたことで、子どもたちは主体的に話し合い、リレーを楽しんだ。振り返りでは、友達が増えた喜びを味わい、小学校でまた一緒にリレーをする約束をするなど、共に満足感を味わった。

11月 3年生と交流（桜宮小）

- ・うたごええひびけなにわっこのリハーサルを、小学校の講堂で行った。大きな舞台上で歌ったことや3年生や保護者に聞いてもらったことが、自信につながった。また、3年生のリコーダーの演奏を聞かせてもらい、憧れの気持ちをもった。

11月 作品展見学（桜宮小）

- ・5歳児が、全学年の作品を見せてもらった。一つ一つの作品に興味をもって見ていた。小学

生の作品に刺激を受け、幼稚園で作品をつくる意欲が高まった。

1 1月 保幼小連携・接続研究発表会（桜宮小）

- ・5歳児は、3年生とペアになり学校探検をしたり、小学校生活の寸劇を見せてもらったり、リコーダーの演奏を聴かせてもらったりして、就学への期待が高まった。

保幼小の教員は、2年間の研究の成果を、保幼小連携・接続研究発表会で報告した。

1 2月 作品展見学（桜宮幼）

- ・小学校の教員が、幼稚園の作品展を見に来られた。幼児が幼稚園でどのような絵画・製作をしているのか知ってもらう機会になった。

1 2月 5年生と凧あげ交流（桜宮小）

- ・小学校の校庭で5年生と、5歳児が凧あげ交流を行った。5歳児一人に4～5人の5年生が付き添い、凧のあげ方を、目線を合わせて教えてくれたり、励ましてくれたりしたことで、幼稚園の子どもたちが繰り返し凧あげを楽しんでいた。小学生の優しさに触れ、帰り際にハイタッチをしたり、手を振ったりして親しみをもつ姿も見られた。

3月 小学校栄養教諭のお話（桜宮幼）

- ・小学校の栄養教諭が来園され、5歳児に給食について話をしたり、小学校で使っているものと同じ重さの食缶を運ばせてもらったりしたことで、給食に期待をもった。

3月 1年生と4歳児の交流（桜宮幼）

- ・1年生が来園し、4歳児に昔遊びを教えてくれた。1年生は幼稚園児に遊びを伝えることが、自信になり、4歳児は小学生と関わることで、次年度からの交流につながる。

### 取組内容③

- ・毎月の体重測定後に保健指導実施した。

4月：朝ごはんをしっかりと食べずに登園する園児がいたため、4、5歳児に朝ごはんの大切さについて指導をした。3歳児には保健室はどういうときに使うかを説明した。

5月：集団生活が始まり、基本的な感染予防行動を身に付けてほしいと思い、手洗いうがいの指導を行った。手洗いの歌を流したり、掲示物を作成したりし、歌を歌いながら手を洗う園児の姿が見られた。

6月：自身のプライベートパーツを見せてしまったり、トイレを覗こうとする園児がいたため、プールが始まる前にプライベートパーツについての指導を行った。繰り返しの指導で問題行動は減少した。7月に保護者向けの生命の安全教育についての保健だよりを配布し、保護者にも啓発を行った。

7月：15分程度の遅刻や、兄姉の影響を受けて就寝時間が遅い園児がいたため、21時までに就寝し、9時までに登園できれば「くじら列車」に乗って、栄養たっぷりのプレゼントをもらおうという指導を行った。朝の通用門にくじらに模した改札機を設置し、カードを投入し、達成できた園児にはシールを貼った。遅刻する園児は減少した。

9月：椅子に座るとき、足を組んだり猫背になっていたりしている園児が多く、姿勢に関する指導を行った。合言葉の「足ピタ、背中ピン！」を伝えると、一時的ではあるが、姿勢の改善が見られた。

10月：年少児、年中児は、正しいお箸の持ち方をしている園児がクラスの半数程度で、年長児は大半が正しい持ち方をしているが、握り箸をしている園児が数人いるため、就学に向けて、正しいお箸の持ち方を知らせた。持ち方の改善までには至らなかったが、廊下にお箸で遊べる場所を設けたことで、年少の園児がお箸を楽しく使う様子が見られた。

11月：食べ物の役割を知り、バランスよく食事をとる大切さを知ってほしいと思い、3色の栄養についての指導を行った。指導後、「今日のお弁当は3色入ってた」や「遊ぶ力は黄色やで。おにぎりとか」と教えてくれる園児がいた。

12月：手洗いの必要性や正しい手洗い方法は身に付いているが、冬季は手洗いをしない姿も見られるため、ブラックライトを用いた手洗いを実施した。いつ手洗いをするのか再確認して、手洗いの習慣化につなげた。

1月：シャツの裾がズボンから出たり、体操服の下に服を着すぎたりして、体温調節がしにくい幼児が多数いたため、衣服の着脱についての指導を行った。厚着をすると体を動かすにくいことを体験させるようにして、体を温める方法を伝えた。指導後、自分でシャツをズボンの中に入れたり、教師が声掛けをすると気付いたりする幼児が増えた。幼児に指導したことを、保健だよりで保護者にも啓発した。

2月：お弁当に柔らかい食材が多い、活舌が不明瞭、口で呼吸をしている、舌やアゴの力が弱いなどの幼児が複数見られた。正しい舌の位置を知り、舌やアゴ、口唇の力をつけるために、お顔じゃんけんやパタカラ体操を実施し、担任と連携して継続して行うようにしている。

- 保健指導実施日の降園連絡時や、月末の保育室帰りの際、指導内容を保護者へ伝えた。
- 夏季休業中に、生活習慣を継続できるように、1学期終業式の保護者会で、保健だよりと保健指導時の写真を提示し、再度、睡眠の大切さや家庭での習慣付けの協力を依頼した。また、家庭と連携できるよう、はみがきカレンダーを作成配布した。
- 6月に歯科園医と歯科衛生士に来園してもらい、園児向けの歯磨き指導と、保護者向けの講話を実施した。事前に、歯科に関する質問を保護者から回収し、今の保護者に沿った講話を依頼した。
- 早起きや時間通りの登園の習慣獲得のために、2学期、「くじら列車」の取組を行った。降園時にカードの返却をすることで、時間通りに登園することを意識したり、幼児のためにと保護者の協力も得られたりして、遅刻者が減少した。
- 便秘で腹痛を訴える幼児が多く見られた。実態把握のため、冬休みに「はやね・はやおき・うんちカレンダー」を各家庭に配布した。幼児の健康状態をうんちで確認したり、親子でうんちの会話をしたりして、親子で排便の大切さを考えるきっかけになった。

#### 次年度への改善点

- 引き続き、幼児が今年度の経験を生かして、かいたり、つくったりして、表現することを楽しむことができるように環境を整えより豊かな表現につなげられるようにする。
- これまで積み重ねてきた保幼小の交流を絶やすことなく、今後も継続して行う。
- 望ましい生活習慣の獲得のために、一時的な指導だけで終わらず、掲示や保護者啓発にも取り組む。

## 大阪市立桜宮幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>幼稚園の年度目標</p> <p>① 令和7年度の保護者アンケートの次の各項目において最も肯定的な回答の割合を70%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもは絵本やおはなしに親しむようになりましたか」 (前年度、最も肯定的な回答73%)</li> <li>・「幼稚園は絵本やおはなしに親しむ環境や指導方法を工夫していますか」 (前年度、最も肯定的な回答90%)</li> </ul>	A
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容①【基本的な方向8 生涯学習の支援】          幼児がいろいろなお話に親しめるような環境や指導方法を工夫する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本貸し出しを毎週行い、絵本カードを活用しながら、いろいろなお話に親しめるようにする。</li> <li>・保護者と幼児と一緒に絵本を楽しむ「おはなしタイム」を月1回行い、落ち着いた場で様々なお話にふれられるような環境構成を工夫する。</li> <li>・学期に一回以上、ペープサートや大型絵本など、様々なお話に親しむことができるような機会を設ける。</li> </ul>	A
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p> <p>○保護者アンケート</p> <p>①「子どもは絵本やおはなしに親しむようになりましたか」の項目において、最も肯定的な回答は84%であった。          「幼稚園は絵本やおはなしに親しむ環境や指導方法を工夫していますか」の項目において最も肯定的な回答は100%であった。</p> <p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本貸し出しを毎週行うようにしたことで、お気に入りの絵本を何度も選んだり、友達が借りている絵本に興味をもったりするなど、絵本により親しみをもった。また、借りた絵本を元の場所に返却し、丁寧に扱えるようになってきている。</li> <li>・絵本カードに、子どもが家庭でどのように絵本を読んでいるのか、保護者が詳しく記入されていることが多く、家庭でも絵本と一緒に楽しめる機会となっていることが伺える。</li> <li>・子どもと保護者がゆったりとした空間で絵本を楽しむように、「おはなしタイム」の場所を遊戯室にも設けた。子どもの興味や関心に沿った内容や季節感のある絵本を、選択しやすい場所に移動したり、教職員のおすすめ絵本を紹介する掲示物を貼り出したりするなど、環境を工夫した。</li> <li>・1学期の7月の七夕誕生会で、大型ペープサートやブラックライトを使用して、七夕のお話を披露した。また、誕生会で園長が紙芝居や手袋シアターなどを披露している。絵本以外のものを使ったことで、幼児がよりお話に興味をもった。</li> <li>・生活発表会の劇遊びの絵本は、同じお話でも様々な出版社の絵本を読み聞かせたり、他クラスの劇遊びの絵本を読み聞かせたりしたことで、想像力が広がり、お話への関心がより高まった。</li> </ul>	
<p>次年度への改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスの本棚も、季節や幼児の興味に沿って絵本を入れ替えて充実させることで、幼児に様々な絵本との出会いを保障する。</li> <li>・誕生会や行事などで、教職員が様々な方法でお話をする機会をもつ。</li> </ul>	

## 令和 7 年度 学校関係者評価報告

大阪市立桜宮幼稚園 学校協議会

## 1 総括についての評価

- ・保護者アンケートの結果では、全ての項目で年度目標を上回る結果を得ることができた。
- ・配慮を要する幼児が複数いる中、教員が一人一人の幼児と真摯に向き合い、丁寧に関わっていることで、幼児が優しく育っている。
- ・地域の保幼小が連携し、幼児が安心して就学できるように交流している。

## 2 年度目標ごとの評価

## 年度目標：【安全・安心な教育の推進】

## 幼稚園の年度目標

- ③ 令和 7 年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を 80%以上にする。
  - ・「幼稚園は子どもが園内で安全に過ごせる環境や援助の在り方を工夫している」
- ④ 令和 7 年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を 80%以上にする。
  - ・「幼稚園はお互いの良さを認め合える保育をしている」
  - ・「子どもは友達と一緒に遊ぶことを楽しんでますか」

- 達成状況の評価は、妥当である。
- 都島警察から指導を受けながら、外部から不審者が侵入した場合の防犯訓練を実施した。
- 昨年度に引き続き、地震・津波時の避難訓練を小学校の協力を得て引き渡し訓練を実施した。
- 配慮を要する幼児が複数在籍する中、一人一人の実態に応じた保育を実践したことで、生活発表会の保護者アンケートでは、一人一人を大切にされた保育であると高評を得た。

## 年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

## 幼稚園の年度目標

- ① 令和 7 年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を 80%以上にする。
  - ・「子どもはかいたり、つくったりして遊ぶことを通して、表現する楽しさを味わっていますか」
- ② 令和 7 年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を 80%以上にする。
  - ・「幼稚園は、近隣の小学校・保育園などと交流し連携を深められていますか」
- ③ 令和 7 年度末の保護者アンケートの次の項目において、最も肯定的な回答の割合を 70%以上にする。
  - ・「子どもは基本的な生活習慣が身に付いてきていますか」
  - ・「幼稚園は子どもの実態に応じた保健指導を実施している」

- 達成状況の評価は、妥当である。
- 就学前教育カリキュラムを活用し、幼児がかいたり、つくったりしたいときに、すぐに取り組める環境を整えたり、教師が幼児の表現を大切に受け止めたりした。また、2年間の取組を造形表現・図画工作・美術教育研究全国大会や大阪市立幼稚園教育研究会の成果発表会で発表した。
- 保幼小連携・接続推進研究発表会で、保幼小交流の2年間の取組を報告した。架け橋プログラムを作成したり、保幼小の教職員が研修会を行ったりして、研究を深めた。
- 幼児の実態から様々な保健指導を行い、家庭と連携しながら親子で幼児の健康への意識を高めることができた。

## 年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

## 幼稚園の年度目標

- ① 令和 7 年度の保護者アンケートの次の各項目において最も肯定的な回答の割合を 70%以上にする。
  - ・「子どもは絵本やおはなしに親しむようになりましたか」
  - ・「幼稚園は絵本やおはなしに親しむ環境や指導方法を工夫していますか」

- 達成状況の評価は、妥当である。
- 『おはなしタイム』の環境を工夫したり、毎月おすすめの絵本を掲示して知らせたりした。また、誕生会で様々な方法でお話を語ったことで、幼児はよりお話に親しむことができた。

## 3 今後の学校園の運営についての意見

- 保幼小交流をすることで安心して就学できることをアピールしたり、幼稚園の教育内容の発信の仕方を工夫したりして、園児獲得につなげてほしい。